六月四日（ニュース）　（二号）

◎一従業員より會社へ

睦まじき吾一大家族伊那電會社迄今では不和を以て自ら任じたる吾伊那の者も一朝一軽卒漢の為に今や全く其の根底よりくつがへさんとしてゐるので有りますのみならず吾等が兄弟一部従業員も今や其のあやまてる第一歩の為めに全く彼の毒牙の餌食たらんとしてゐます吾等は我親愛なる兄弟の一日も早く毒牙より逃るる事を希願ふものであります　それで吾等は今後の兄弟の為めに兄弟を犠牲にしあくまでも彼の軽卒漢を懲心し永遠に吾伊那の為及伊那電會社の平和裡に置かれん事を切に希望致します　仍て敢然會社に置かれましては尚今後も横得に不拘徹底的に此の社會を害せんとする害毒を御取去り被下度[illegible]公であり慈母で有る會社と吾等は思ふのであります

敢して恐れ乍ら斯く一書を呈する次第であります。

一従業員より

伊那電気鉄道株式会社　御中

一其后慰問品を贈られた芳名

餅菓子　二折　殿町　加藤庄三郎殿

一状況視察ヶ来社中の塩入監査役本日午前九時帰京の途に就かる。